

「腰椎アライメントと大腰筋の関係に関する研究」へご協力をお願い

-平成26年1月1日から平成27年6月30日まで岡山大学病院において術前にMRIを撮影された方へ-

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究科長

谷本 光音

岡山大学病院

病院長

槇野 博史

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

生体機能再生・再建学講座 整形外科学分野

医員

小田 孔明

## 1. 研究の概要(研究の目的及び意義)

股関節を曲げる運動と背骨を支える役目を担う筋肉に大腰筋という筋肉があります。大腰筋は正常では背骨に付着していて、収縮すると姿勢を保つように働きます。加齢に伴って、骨や椎間板、筋肉などの老化が起こると背骨は丸く曲がり、時には横へ曲がってしまいます。曲がった背骨に対して大腰筋の位置がどう変化しているかは不明です。この研究は背骨の関係と大腰筋の位置関係を調査します。

## 2. 研究の方法

### 1)研究対象者

平成26年1月1日から平成27年6月30日まで岡山大学病院において術前にMRIを撮影された方60人を対象

とします。

### 2)研究期間

平成28年5月開催の倫理委員会承認後～平成29年3月31日

### 3)研究方法

対象となる研究対象者に対し、カルテにある情報から、腰椎アライメントと大腰筋の位置関係について調査します。

#### 4)使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 5)情報の保存及び廃棄の方法

本研究に使用した情報は研究終了後5年間保存させていただきます。保存期間終了後は電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

#### 6)情報の保護

本研究に使用する情報は岡山大学整形外科医局内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

#### 7)研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。

あなたまたは代諾者の同意により、ご家族等を交えてお知らせすることも出来ます。内容についておわかりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年6月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科                      医員（大学院生）                      小田 孔明

電話：086-235-7273（平日：9時～17時）

FAX：086-223-9727